



APEC JAPAN 2010
Ministerial Meeting on Food Security in Niigata

第1章 APEC新潟会合

APEC JAPAN 2010 Ministerial Meeting on Food Security in Niigata



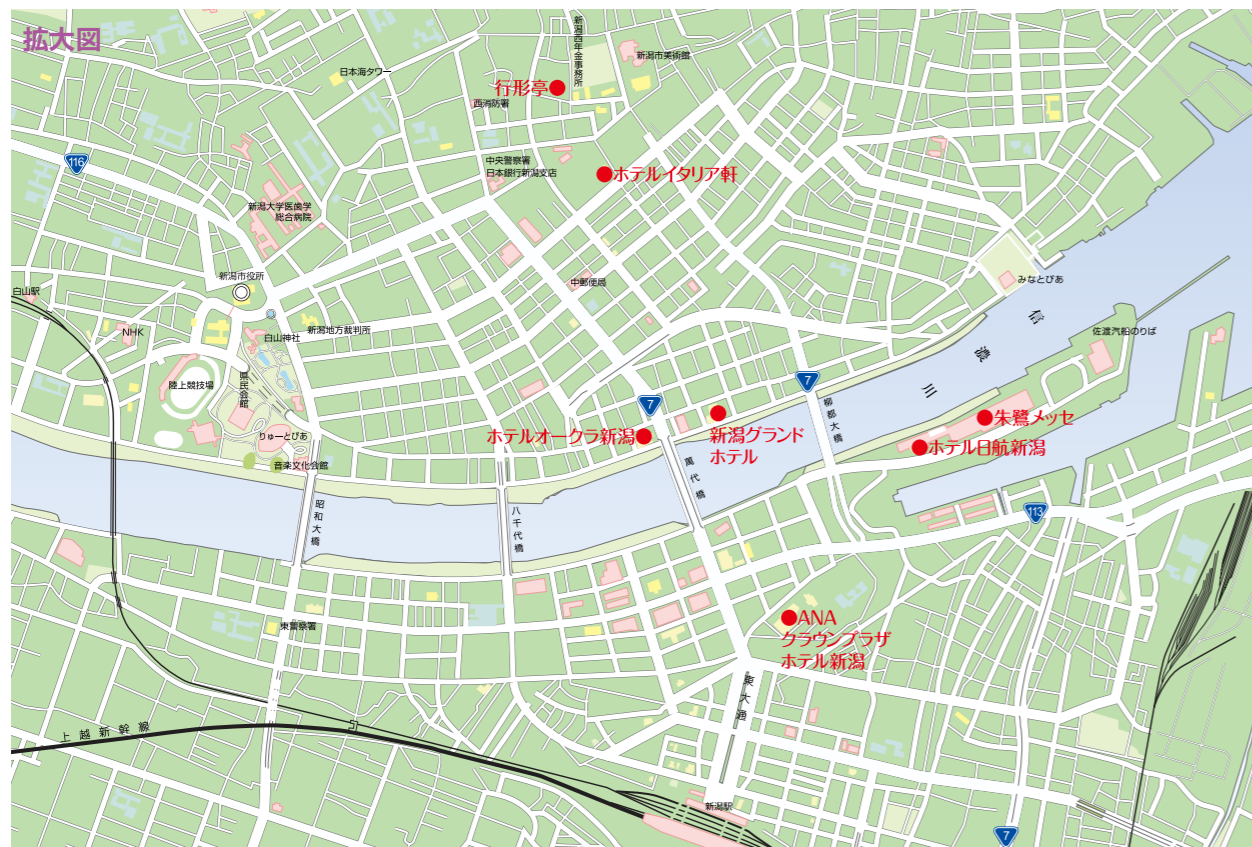
1 開催日・会場

- 開催期間 平成22年10月15日(金)～17日(日)
- 会場 朱鷺メッセ



朱鷺メッセ (主会場)

会場、エコノミー・国際機関宿泊ホテル、閣僚夕食会会場



視察会、同伴者プログラムでの訪問先



2 全体日程

※時間は実績ではなく、予定時間
※バイ会談は、必要に応じて随時開催

	10月14日(木)	10月15日(金)
		閣僚など代表者 実務者
午前		<p>9:00 ~ 10:00</p> <p>代表団新潟到着 ■新潟駅・新潟空港 歓迎プログラム (協議会主催)</p>
		<p>12:00 ~ 13:30</p> <p>昼食 <ホテル日航新潟></p>
	<p>13:00 ~ 15:00</p> <p>代表団新潟到着 ■新潟駅・新潟空港 歓迎プログラム (協議会主催)</p>	<p>14:00 ~ 16:00</p> <p>実務者会合 <マリンホール></p>
午後		<p>18:30 ~ 21:45</p> <p>■歓迎レセプション (政府・協議会共催) <ウェーブマーケット></p>

	10月16日(土)	10月17日(日)
		<p>9:30 ~ 10:00</p> <p>大臣会合 閣僚宣言・行動計画の採択 <マリンホール></p>
		<p>10:15 ~ 10:45</p> <p>共同記者会見 <スノーホール></p>
	<p>9:00 ~ 10:30</p> <p>大臣会合 「議題Ⅰ」 <マリンホール></p>	<p>11:30 ~ 16:00</p> <p>■視察会 (政府主催)</p>
	<p>10:50 ~ 12:10</p> <p>大臣会合 「議題Ⅰ(続き)」 <マリンホール></p>	
	<p>12:30 ~ 14:00</p> <p>ワーキングランチ <マリンホール></p>	
	<p>15:00 ~ 16:50</p> <p>大臣会合 「議題Ⅱ」 <マリンホール></p>	
	<p>14:40 ~ 14:50</p> <p>記念撮影 <スノーホール></p>	
	<p>17:10 ~ 18:00</p> <p>大臣会合 「議題Ⅱ(続き)」 <マリンホール></p>	
	<p>18:30 ~ 19:00</p> <p>大臣記者会見 <エスプラナード></p>	
	<p>19:30 ~ 21:30</p> <p>■閣僚夕食会 (政府主催) <行形亭></p>	

3 各エコノミー・国際機関の参加者

① エコノミー

エコノミー名	代表者
オーストラリア	グライド 農水林業省副次官
ブルネイ	ヤヒヤ 産業一次資源大臣
カナダ	リッツ 農務・農産食品大臣
チリ	ガリレア 農業大臣
中国	牛 農業部副部長
中国香港	陳 食物・衛生局第2副局长
インドネシア	ススウォノ 農業大臣
日本	鹿野 農林水産大臣
韓国	金 農林水産食品部第一次官
マレーシア	ノー 農業・農業関連事業大臣
メキシコ	マジョルガ 農業・牧畜・農村開発・水産・食料大臣
ニュージーランド	カーター 農業大臣
パプアニューギニア	ヒッキー 農業畜産大臣
ペルー	サンチェス 農業省副大臣
フィリピン	アルカラ 農業長官
ロシア	スクルインニク 農業大臣
シンガポール	マー 国家開発大臣
チャイニーズ・タイペイ	陳 行政院農業委員会主任委員
タイ	ティーラ 農業・協同組合大臣
米国	タットワイラー 農務省農務長官室食料安全保障イニシアチブ調整官
ベトナム	ボン 農業・農村開発副大臣

② 国際機関

国際機関名	代表者
アジア開発銀行 (ADB)	グリーンウッド 副総裁
国連食糧農業機関 (FAO)	小沼 アジア太平洋地域事務所長
国連食料安全保障危機ハイレベル・タスクフォース(HLTF)	ナバロ 調整官 (※ビデオメッセージのみ)
国際農業開発基金 (IFAD)	大村 副総裁
国連貿易開発会議 (UNCTAD)	スパチャイ 事務総長
世界銀行 (WB)	ボーゲル 農業・農村開発セクター担当局長
国連世界食糧計画 (WFP)	シルバ 事務局次長

③ APEC オブザーバー国際機関

国際機関名	代表者
APEC 事務局	ヌール 事務局長
APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC)	相原 議長

4 議題、新潟宣言、行動計画



発言する鹿野大臣

■ 議題

- 議題1：持続可能な農業の発展
- 議題2：投資、貿易及び市場機能の円滑化

■ APEC食料安全保障新潟宣言 (概要)

エコノミーが今後目指すべき共通目標を示しました。

共通目標1：持続可能な農業の発展

- 食料供給力の拡大
- 農業災害対応の改善
- 農村地域の振興
- 気候変動と天然資源管理への対応

共通目標2：投資、貿易及び市場機能の円滑化

- 農業投資の促進
- 農産物貿易の円滑化
- 農産物市場の信頼性強化
- アグリビジネス環境の改善
- 食品安全措置の改善

■ APEC食料安全保障行動計画 (概要)

新潟宣言で示した共通目標を実現するための具体的な活動を定めた「行動計画」には、各エコノミーから提案された62の行動が盛り込まれました。

5 会合内容

平成22年

10/15 fri

天気概況：昼／曇り時々雨 夜／曇りのち時々雨
 平均気温：19.4℃ 平均風速：2.7 m/s

① 到着・歓迎プログラム

- 実施日 平成22年10月14日(木)・15日(金)
- 場所 新潟駅、新潟空港

新潟駅や新潟空港に到着したエコノミー・国際機関代表団をにいがた観光親善大使とトッキッキ、ボランティアが出迎え、花束を贈呈して歓迎しました。



にいがた観光親善大使、トッキッキ（新潟県宣伝課長）、ボランティアが出迎え



花束贈呈で歓迎



新潟空港で記念撮影

② アクレディテーションデスク (ID発給デスク)

- 実施日 平成22年10月14日(木)～17日(日)
- 場所 万代島ビル1階

新潟駅や新潟空港に到着したエコノミー・国際機関代表団らは、農林水産省が設置したアクレディテーションデスクでIDなどを受け取りました。



ID発給の様子



手続き時に配布されたコングレスバッグと記念品、観光パンフレットなど

③ 昼食

- 日時 平成22年10月15日(金) 正午～午後1時30分
- 場所 ホテル日航新潟30階鳳凰

会合前日、閣僚はホテル日航新潟で昼食を楽しみました。



昼食の様子



4 政府・協議会共催歓迎レセプション

- 日 時 平成22年10月15日(金) 午後6時30分～9時10分
- 場 所 朱鷺メッセ1階ウェーブマーケット

会合会場のウェーブマーケットで、政府と協議会の共催で歓迎レセプションが行われました。

《あいさつ・鏡開き》

歓迎レセプションは、津軽三味線と芦沼の映像で幕を開け、筒井農林水産副大臣、泉田新潟県知事、篠田新潟市長のあいさつ、エコノミー・国際機関の代表による“鏡開き”で歓迎しました。



筒井副大臣の発声で「乾杯」



あいさつする筒井副大臣



新潟県宣伝課長のトッキキ(とっぴー・きっぴー)と一緒にあいさつする泉田知事



日本一の米どころになった新潟の歴史を紹介する篠田市長

《食のおもてなし》

新潟自慢の料理と各エコノミーの郷土料理でもてなしました。



エコノミーの料理のほか、地元の食材をふんだんに使った新潟自慢の料理を提供



屋台コーナーは大好評



料理を手に談話するメキシコのマジオルガ大臣(左)とニュージーランドのカーター大臣(右)



会場全体の様子

《伝統芸能・演舞の披露》

アトラクションでは、“五穀豊穡”をテーマに、郷土芸能や演舞を披露しました。



新潟総踊りの皆さんによる下駄総踊り



新潟万代太鼓神龍会の演奏



小林史佳さんによる津軽三味線



新潟市民謡連盟のほか、出演団体が一体となったフィナーレ



閣僚が踊りの輪に加わる一幕もあり、大いに盛り上がりを見せた。
(中国の牛副部長(右)、ペルーのサンチェス副大臣(右から2番目)、チャイニーズ・タイペイの陳主任委員(左))

《地酒のふるまい》



県内全蔵元の地酒を提供



新潟県酒造組合による説明



試飲する世界銀行のボーゲル局長(右)



和やかな雰囲気のもと、各蔵元自慢の地酒に舌鼓

《新潟食材のPR》



旬の農産物を展示



魚沼産コシヒカリのおにぎりやのっぺいなどの郷土料理コーナー

平成22年

10/16 sat

天気概況：昼／曇り時々晴れ 夜／曇り
平均気温：18.5℃ 平均風速：2.7 m/s

❖ 式次第 ❖

平成22年10月16日(土)

- 9:00 ~ 9:10 オープニング「議題採択」
- 9:10 ~ 12:10 セッション1 「持続可能な農業の発展」
- 12:30 ~ 14:00 こども食料大使の歓迎あいさつ
ワーキングランチ
- 14:40 ~ 14:50 記念撮影
- 15:00 ~ 18:00 セッション2 「投資、貿易及び市場機能の円滑化」

平成22年10月17日(日)

- 9:30 ~ 10:00 クロージング 「閣僚宣言・行動計画の採択」
- 10:15 ~ 10:45 共同記者会見

① APEC食料安全保障担当大臣会合

- 開催日 平成22年10月16日(土)・17日(日)
- 場所 朱鷺メッセ4階マリンホール

鹿野農林水産大臣の議長の下、会合が進められました。



会議場の様子



前列左から、山花政務官、鹿野大臣、筒井副大臣、篠原副大臣



手前から、マー大臣(シンガポール)、スクリンニク大臣(ロシア)、アルカラ長官(フィリピン)、サンチェス副大臣(ペルー)、ヒッキー大臣(バブアニューギニア)



会議場内に設けられた同時通訳ブース。英語から、8言語(日本語、スペイン語、中国語、インドネシア語、韓国語、ロシア語、タイ語、ベトナム語)に同時通訳を実施



卓上には、「新潟のおいしい水道水 柳都物語」を飲み物として提供

2 バイ会談

- 開催日 平成22年10月15日(金)～17日(日)
- 場所 朱鷺メッセ3階会議室

会議や行事の合間に、エコノミー・国際機関代表によるバイ会談が行われました。



鹿野大臣とスクルィンニク大臣（ロシア）との会談



鹿野大臣とマジョルガ大臣（メキシコ）との会談



鹿野大臣とアルカラ長官（フィリピン）との会談



鹿野大臣とスウォノ大臣（インドネシア）との会談



鹿野大臣とカーター大臣（ニュージーランド）との会談

3 ワーキングランチ

- 日時 平成22年10月16日(土) 午後0時30分～2時
- 場所 朱鷺メッセ4階マリンホール

セッション1終了後に、会議場内でワーキングランチが行われました。



ワーキングランチの様子



こども食料大使 新潟県小千谷市岩沢小6年の関口りょうさん(右)、沖縄県豊見城市伊良波小6年の運天拡人さん(左)による歓迎のあいさつ。関口さんは、「新潟は、自然豊かで安全・安心な作物が食べられる。世界には十分に食べられない人もいますので、食べ物を生産する環境を整えてほしい」と訴えた。



ワーキングランチのメニュー
当日は世界食料デー(10月16日)であることから、飢餓の解消に取り組む「TABLE FOR TWO」の食事を提供。五穀豊稔にちなみ、五大穀物を使用

4 コーヒーブレイク

■日 時 平成22年10月16日(土) 1回目 午前10時30分～10時55分
2回目 午後 4時20分～ 4時45分

■場 所 朱鷺メッセ4階ホワイエ

会合の合間のコーヒーブレイクでは、米粉や新潟自慢の農産物を使用したスイーツのほか、南区フルーツスイーツコンテストグランプリ作品も提供。会合関係者への“おもてなし”と“新潟食材のPR”を行いました。



米粉や新潟自慢の農産物などを使用した色とりどりのスイーツを提供



マレーシアのノー大臣(右)にスイーツの説明をするボランティア



ケーキとコーヒーを手に談笑する会合関係者

5 記念撮影

■日 時 平成22年10月16日(土) 午後2時40分～2時50分
■場 所 朱鷺メッセ2階スノーホール

ワーキングランチ終了後に、記念撮影が行われました。



記念撮影に参加したエコノミー・国際機関の代表

前段左から

オーストラリア	グライド 農水林業省副次官
ブルネイ	ヤヒヤ 産業一次資源大臣
カナダ	リッツ 農務・農産食品大臣
チリ	ガリレア 農業大臣
中国香港	陳 食物・衛生局第2副局长
中国	牛 農業部副部長
インドネシア	ススウォノ 農業大臣
日本	山花 外務大臣政務官
日本	鹿野 農林水産大臣
日本	筒井 農林水産副大臣
韓国	金 農林水産食品部第一次官
マレーシア	ノー 農業・農業関連事業大臣
メキシコ	マジョルガ 農業・牧畜・農村開発・水産・食料大臣
ニュージーランド	カーター 農業大臣
パプアニューギニア	ヒッキー 農業畜産大臣
ペルー	サンチェス 農業省副大臣

後段左から

フィリピン	アルカラ 農業長官
ロシア	スクルインニク 農業大臣
シンガポール	マー 国家開発大臣
チャイニーズ・タイペイ	陳 行政院農業委員会主任委員
タイ	ティーラ 農業・協同組合大臣
米国	クラフト 国務省次官補代理
米国	タットワイラー 農務省農務長官室食料安全保障イニシアチブ調整官
ベトナム	ボン 農業・農村開発副大臣
APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC)	相原 議長
APEC 事務局	ヌール 事務局長
アジア開発銀行 (ADB)	グリーンウッド 副総裁
国連食糧農業機関 (FAO)	小沼 アジア太平洋地域事務所長
国際農業開発基金 (IFAD)	大村 副総裁
国連貿易開発会議 (UNCTAD)	スバチャイ 事務総長
世界銀行 (WB)	ボーゲル 農業・農村開発セクター担当局長
国連世界食糧計画 (WFP)	シルバ 事務局次長

6 閣僚夕食会

■ 日 時 平成22年10月16日(土) 午後7時30分～9時30分

■ 場 所 行形亭

新潟を代表する料亭の一つ「行形亭」で、食と文化を堪能しました。



庭園では、LEDを使って蛍の明かりをイメージしたライトアップで出迎え



鹿野大臣による歓迎のあいさつ



ウェルカムドリンクが振る舞われる中で談笑する鹿野大臣



琴の演奏による癒しの空間の演出



筒井副大臣の発声で「乾杯」



華やかな古町芸妓の舞



第45回新潟県音楽コンクール大賞受賞者の五十嵐冬馬さん(東京藝術大学音楽学部附属音楽高校2年 長岡市出身)によるフルートの演奏



新潟市ジュニア邦楽教室団員7人による邦楽器の演奏。指揮者は、同教室の指導者、鯨岡徹さん



タットワイラー調整官(米国)と歓談する泉田知事



陳主任委員(チャイニーズ・タイペイ)と談笑する篠田市長



古町芸妓と参加者による記念写真



筒井副大臣による記念品披露。記念品は、ノーベルデザインカトラリー



篠原副大臣による閉会のあいさつ

7 同僚者プログラム

- 日 時 平成22年10月16日(土) 午前9時～午後3時
- 場 所 白根グレープガーデン、ぼるとカーブドッチ、新潟ふるさと村
- 参加者 カナダ、インドネシア、チャイニーズ・タイペイの閣僚夫人、ほか

エコノミー代表の同僚者を対象に、新潟の魅力に触れてもらおうと、視察会が行われました。



白根グレープガーデンでは、地元の子どもたちから花束贈呈のサプライズ



ブドウ狩りの様子



昼食会場のぼるとカーブドッチで、新潟の話題に花が咲く参加者



新潟ふるさと村を見学



新潟ふるさと村でボランティアが新潟の特産品を紹介

平成22年

10/17 sun

天気概況：昼／晴れ時々曇り一時雨 夜／晴れ
 平均気温：18.7℃ 平均風速：3.1 m/s

① 共同記者会見

- 日 時 平成22年10月17日(日) 午前10時15分～10時45分
- 場 所 朱鷺メッセ2階スノーホール

会合終了後、エコノミー・国際機関の代表による記者会見が行われました。鹿野農林水産大臣が議長として発言したほか、質疑応答が行われました。



会見に臨むエコノミー・国際機関などの代表



発言する鹿野大臣

② 視察会

- 日 時 平成22年10月17日(日) 午前11時30分～午後3時30分
- 場 所 みなとびあ、昭和シェル石油 雪国型メガソーラー、北方文化博物館、JR東日本新津車両製作所

エコノミー代表団に新潟の歴史、文化、農業、技術に触れてもらおうと視察会が行われました。



みなとびあで、新潟の水と土の関いについて説明を受ける代表団



昭和シェル石油 雪国型メガソーラーを車窓から見学



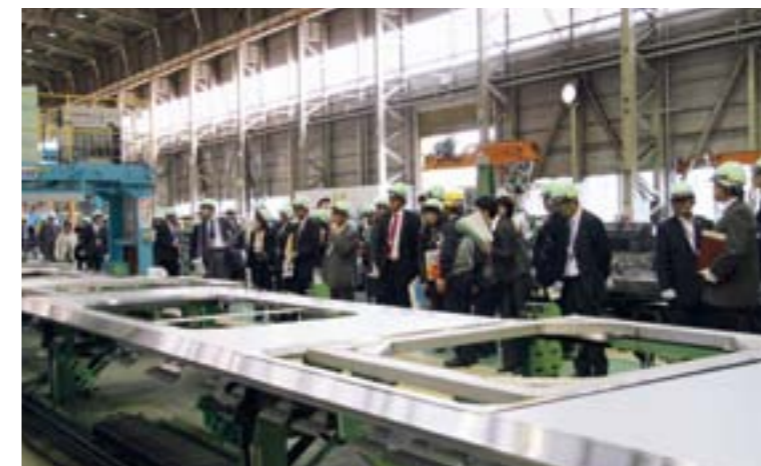
昼食では、新潟ならではの食を堪能



北方文化博物館で新潟の豪農文化に触れる代表団



笑顔で代表団を見送る泉田知事



JR東日本新津車両製作所を視察

6 会場周辺の警備

■ 場 所 朱鷺メッセ周辺

農林水産省と新潟県警察、第九管区海上保安本部によって、会場周辺で警備が行われました。



第九管区海上保安本部による信濃川（新潟港）警備



新潟県警察による警戒警備



新潟県警察による警戒警備

7 会場内の様子

■ 場 所 朱鷺メッセ

朱鷺メッセ全体が会合運営のために利用されました。



運営事務局



会場入り口周辺



プレスセンター



金属探知機の設置



代表団共同作業室



ビューイングルーム



バイ会談室

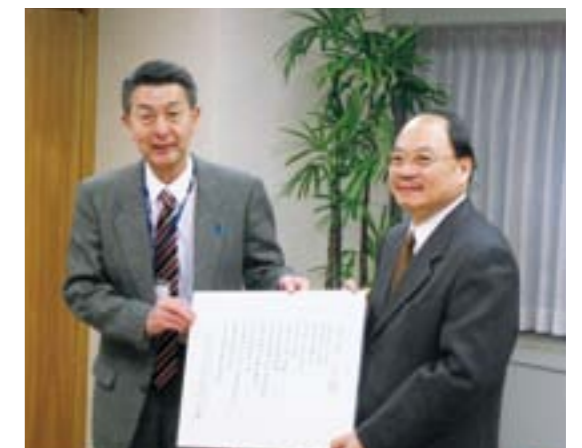
8 チャイニーズ・タイpei代表の詩「新潟之舞」

会合閉幕間際に、チャイニーズ・タイpeiの陳主任委員が、自作の詩「新潟之舞」を朗読し、会合開催地「新潟」を称賛いただく場面がありました。



陳主任委員直筆の「新潟之舞」

《和訳》



陳主任委員に代わり、郭 台北駐日経済文化代表処経済部次長から後日、直筆書が篠田市長へ贈呈された。

APEC公式ロゴマーク

政府は、2010年日本APEC開催にあたって、公式ロゴマークを定めました。このロゴマークは、一連のAPEC関係会議のシンボルとなるものです。



協議会ロゴマーク

協議会では、会合の開催をPRするためロゴマークを作成しました。稲穂は食料、朱鷺メッセは都市、信濃川は水と土、萬代橋は歴史をイメージしています。また、緑色は田園環境都市を、青色は水の都 新潟市を表しています。さらに、“こうべ”を垂れる稲穂は「米どころ新潟」、「食料供給基地 新潟」を表現しています。

